



SHALA'S SANCTUARY Vol.3

深いエメラルドの森で ~月の女神~

旅をし、自然を愛でながら
インスピレーションに溢れるダンスを披露するシャーラ。
ベリーダンスの枠を超えて、美しい音の翼に乗って自由に遊びます。
今回は、深い森の奥へといぎなう煌めくインド音楽と
Aki Uedaのオリジナル楽曲、才気溢れるパーカッションの
駒沢れおをスペシャルゲストに迎えて一段とパワーアップ!!
月の女神、動物たち、森の息吹が聞こえることでしょう。

AKI UEDA (アキ ウエダ)

インド古典音楽において USTAD SHUJAAT KHAN 氏に師事。10代よりギタリストとして活動後世界を旅しシタールと出会う。ヨーロッパ、中近東滞在中フェスティバルやイベント等で活躍、様々なジャンルの音楽家との交流により2枚のアルバムをリリース。2006年、自身のレーベル「CO-WORLD」を立ち上げ、古典音楽だけでなく自身の世界観も追求しつつフラメンコとのユニット「spiral notes」など幅広く活動している。



<http://akiueda.com/>

U-zhaan (ウザーン)

タブラ奏者。96年よりタブラを始める。98年世界的なタブラ奏者 Pt. アニンド・チャタルジー氏に師事。南インドのカンジラをセルバ・ガネーシュ氏に学ぶ。毎年インドと日本を行き来し、インド古典音楽の魅力を追求する一方、ASA-CHANG& 巡礼などのユニットにも参加しタブラの可能性を探る。2002年に発表された「jun ray song chang」はイギリス leaf のベストセリング CD となり、WIRE 誌のベスト4アルバムに選出される。FUJI ROCK FESTIVAL には、4年連続出場を果たしている。



<http://www.pure.ne.jp/~fueya/uzhaan/>

星 衛 (ほしまもる)

1959年生まれ。幼少期をアフリカ大陸で過ごす。クラシックはもとよりロック、ボサノバ、フラメンコ・folkローレ、アイリッシュからアラブ・トルコ音楽まで好奇心の赴くままチェロ、篠笛、エレクトリック・チェロで各種バンドに参加。東京都無形文化財・神田囃子の囃子方として伝統芸能を伝承。著書(筆名:奥澤竹彦)に「聴覚刺激小説案内」(音楽之友社)「アフリカの赤い土」(雑誌パシユ連載、すえもりブックス HP に掲載)など。



<http://www.livecafe.net/djingbabwo/>

駒澤れお

和太鼓奏者として活動したのち、もっと自分らしいリズムを求めアフリカを旅し、その国々のリズムや様々な楽器を習得する。帰国後、数多くのアフリカンバンドへ参加。その後数年間はアフリカ音楽へ命を捧げてきた。2003年頃より叩きすぎた手が壊死寸前になり数年間演奏活動を休止。この期間がジャンルにとらわれず広く音楽を捉えることを教えてくれて、心機一転カムバック! 現在は和太鼓奏者、大多和正樹との打楽器的ユニット「YUZUGAURA」、LatyrSy 率いる体感的アフリカンパーカッションバンド「SUNUXELCOM」など幅広く活動中。メジャー、マイナーを問わず、アーティストのサポートも数多い。「質の高いリズム」を目指し日々奮闘中。



2010.9.11 (Sat) 18:00 開場
19:00 開演

驢馬駱駝 (ろまらくだ)

前売 3500円 / 当日 4000円 (共に1ドリンク付)

売上げの一部は、熱帯雨林保護団体に寄付されます。

